

はじめに

我が国では、女性の社会進出や価値観の変化などを背景とした晩婚化や未婚率の上昇により、出生率が低下するなど少子化は着実に進んでいます。また、共働き家庭の増加、就労環境の多様化などにより、子どもや子育てをめぐる環境は大きく変化しています。それは、本市においても例外ではなく、このような環境の変化は子どもたちの成長に大きな影響を及ぼすことになります。

本市では、平成22年3月に「松原市次世代育成支援行動計画（後期）」を策定し、未来を担っていく子どもたちが、それぞれの個性を伸ばし、いきいきと夢を持って育つことができるように、家庭・学校・地域・行政が一体となって子どもを育み、守る環境や仕組みづくり、また、家庭を築き、子どもを生みたいと思う男女がその希望を実現できるような環境づくりを目指し、今日まで子育て支援施策の推進に取り組んでまいりました。

今回策定した「松原市子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て支援法に基づき、これまで取り組んできた次世代育成支援行動計画を検証し、その見直しを踏まえ、本市が持つ新たな課題や社会情勢の変化に対応した子育て支援に関する施策を、総合的かつ計画的に推進してまいります。

一昨年に大阪で初のセーフコミュニティの国際認証を取得いたしました本市におきましては、この計画に掲げた目標と具体的な施策の推進により、子育て家庭をはじめ、市民の皆様との協働による安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組み、子育てしやすい環境づくりに努めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心なご協議をいただきました「松原市子ども・子育て会議」の委員の皆様、また、アンケートなどに際して貴重なご意見をいただきました市民の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年3月

松原市長 澤井 宏文